

くろつち便り

今月の内容

教育会館清掃について／野草折々-36-
憲法9条で世界を一つに-南九州新聞意見広告
焦眉ならぬ燃眉の急-馬毛島問題
共助会教育講演会(8/19)／(ほっとする話)
雀、海に入って蛤に？-作品展など中止



↑会報QRコード

燃眉の急-馬毛島問題

7月31日、KC130の離着陸訓練があるというので、野里公園近くの高台に、いつもの有志が集まった。長いこと訓練がなかったの、今日は必ずやあるんだろうなと思って、炎天の下、監視を続けた。ところがである。1時間ほど経ったころ、中止の知らせだ。何でも、出発地の岩国の天候が悪かったからだという。

さて、それに先立って7月19日、基地問題や米軍の離着陸訓練等について取材しているという南日本新聞の某記者から松下さんに、インタビューの申し入れがあったということで、竹下さんら数名も同席した。この記者、県内各地や

沖縄にも足を運んでいるらしいことが、その語りから窺えた。

記者が沖縄基地の関係者や高官を取材した話によると、米軍側が鹿屋基地をどう捉えているかという、滑走路の長さや基地周辺の地形など考えると、KC130の離着陸訓練には不向きだ、勝手が悪いということを感じていて、鹿屋基地をあまり重要視していないということらしい。

成る程、訓練の日時を予告していながら、多くは中止になっているのは、それが主因だったかと考えてしまう。それならそれで、鹿屋を訓練地対象から外せばいいのに。未だ外さないのは民意を靡かせ



7/19日、南日本新聞記者と

慣らすためだけのデモ訓練なんだろう。本命は馬毛島。

南日本新聞によると、陸上空母離着陸訓練(FCLP)の移転について、今日7日、防衛省は、西之表市馬毛島に計画する自衛隊基地の配置案を公表、同日には、西之表市長と塩田知事に面会し説明している。別報道では、同日岩国市にも馬毛島移設整備案を説明している。秋にも環境影響評価(アセスメント)の手続きに入り、早期着工を目指しているという。状況は焦眉の急、いや焦げてるところか、燃眉の急だ。鹿屋は使い勝手が悪いから馬毛島ではなく、さっさと出てもらいたい。(榎園)



7/31日、離着陸訓練反対(鹿屋市野里)

延びた支部清掃日程

7/26、小降りの中の支部



今年の梅雨開けは7月28日、平年より2週間遅かったそう。支部清掃予定だった26日は梅雨末期の激しい雷雨。

翌日、支部に行ってみると、中馬さんがビバーをかけておられた。くろつち会としては新しい日取りを次の役員会で話し合うそうだけど、草の生い茂る支部の姿は、中馬さんとしては堪えられなかったのでしょうか。

こんなこともあろうかと僕もビバーを準備していたので、一

時間弱、一緒させてもらいましたが、他の用事もあり早々に止めた。中馬さんの方はまだ作業を続けられるということでしたが19日、支部に立ち寄って驚き。中馬さん、あの後も相当頑張られたことが知れました。後、支部の飛地と細々したところに手が必要のようです。

支部清掃の日取りは今日の役員会で決まるはずですが、時節がら無理をなさらずに、できる範囲で協力をお願いします。



7/27、作業のちょっと合間

鳩は鷹にはならぬ、雀は蛤にはならぬ

コロナ禍がひたひたとこの鹿児島県にも迫ってきている。政府の失政というか無策ぶりには怒りを禁じ得ない。日蓮は、今では滑稽にも思える立正安国論の中で中国の俗信を引き合いに雀変為蛤(雀変じて蛤と為る)と述べて客を褒めたそうだが、政府は雀が蛤になるような、そんな思いがけない変化を期待しているのだろうか。

政府の無策でコロナが収まりそうもないので、今年は残念ですが、「密」が心配されるくろつち会の次の行事は中止ということになりました。

- ・くろつち会旅行
 - ・くろつち会作品展
 - ・会員宅訪問(今回はなし)
- GG 大会は実施予定(10/25)

共助会講演会 報告 津曲進
不登校・ひきこもりからの旅立ち
 講師 宮崎大学 - - 境泉洋先生



「教職員共助会教育講演会」が8月19日（水）にリナシティであり参加しました。この講演会は、教育問題について鹿児島県教職員共助会が主催して毎年行われているものです。

今年、宮崎大学の境泉洋准教授による「不登校・ひきこもりからの旅立ち～支援のポイントを押さえた居場所づくり～」の講演があり、くろつち会や学校の先生方がたくさん参加していました。

初めに、不登校やいじめ、児

童虐待、小学校での暴力行為発生件数が年々増加傾向にあること、「80・50問題」で15歳から64歳のひきこもりも全国に約115万人いることなどの現状についての説明がありました。

それに対する解決方法として

- ①暴力的行動の予防
- ②家族自身のための支援
- ③成功体験をする基盤としての自己・他者受容の意義
- ④子どもが警戒心を緩める方法
- ⑤望ましい行動を増やし望ましくない行動を減らす方針
- ⑥ひきこもり状態からの回復に有効な元気回復行動

などの家族支援の具体的な話がありとても有意義なものでした。

私は、再任用で小学校の特別

支援学級を担任していますが、クラスに不登校傾向の児童がいます。保護者と本人の悩みや不安感が解決できるように、また、家庭が孤立しないで地域や学校とつながっていくような対応を今以上にとりこんでいきたい、と講演を聞きながら改めて考えることでした。来年も「教職員共助会教育講演会」にぜひ一緒に参加しましょう。

来年こそは原爆祈念集会をしっかりと

8月9日、「例年だとイベント広場で座り込みなのにね」と連れ合い。コロナ禍で残念ながら金曜集会だけでなく、1991年から続いてきたという原爆祈念集会も中止になりました。

金曜集会の早期復活を期待し、原爆祈念集会は来年こそはしっかりと取り組めたらと思う。

ほっとする話 樋園光子
「立派な老人」です！

「古稀」を迎えました。しかし今までと変わらない生活です。別に痛いところはないし、特に心配事もないし・・・。

地域で粗大ゴミ収集の回覧が来ました。長いこと使ってきたびれた籐の敷物を処分するいい機会。あいにくの雨の中でしたが、片手で、丸めた敷物（折りたためない2mぐらいの物）を持ち、傘を差して公民館に向かいました。何しろ長いので、人の邪魔にならない歩道を遠回りして・・・。

公民館まで2・30mというところで、車の誘導をしていた男性が走ってきて、

「僕が持ちます。」
 班名と名前を告げて「ありがとうございます。助かりました。」とお願いました。



買い物をして、いっぱい荷物を持っていると「お手伝いしましょうか」と声をかけて下さる人がいます。

世の中、何と親切な人が多くなったのだろう。しかし、そうか！と気づきました。まだ自分は若いと思っていたのですが、「立派な老人！」だったのです。

南九州新聞意見広告
「憲法9条で世界をひとつに」

先月の9条の会役員会で、コロナ禍を受けて、「9条の会総会」などは当面延期することになりました。

一方8月13日の南九州新聞紙面に、「9条の会おおすすめ」からの意見広告が載りました。今年はコロナ禍で賛同者を募るのが大変で例年より少なかったそうですが、それでも470余名と25団体の参加です。すごいいいと思いました。

サブタイトルがいいですね。考えさせられました。
 「コロナ危機、気候変動、自然災害兵器で地球は守れない！」

花の部分の拡大



野草折々-36-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ。今回は、

シ シ ウ ド
 (セリ科)

山地や林縁などに生える高さ2mほどの多年生の大形草本。鹿児島県では大隅半島だけに分布する。

ウドに似て強剛だからイノシシが食うのに適したウドと名付けたのだろう。2009年7月16日高隈山系御岳山麓で撮影